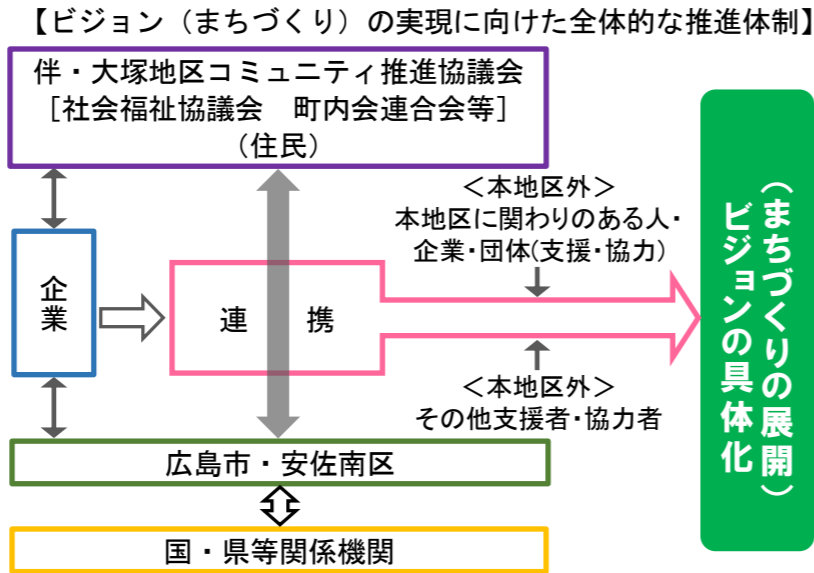


### 3 ビジョンの実現に向けて

#### ■全体的な推進体制

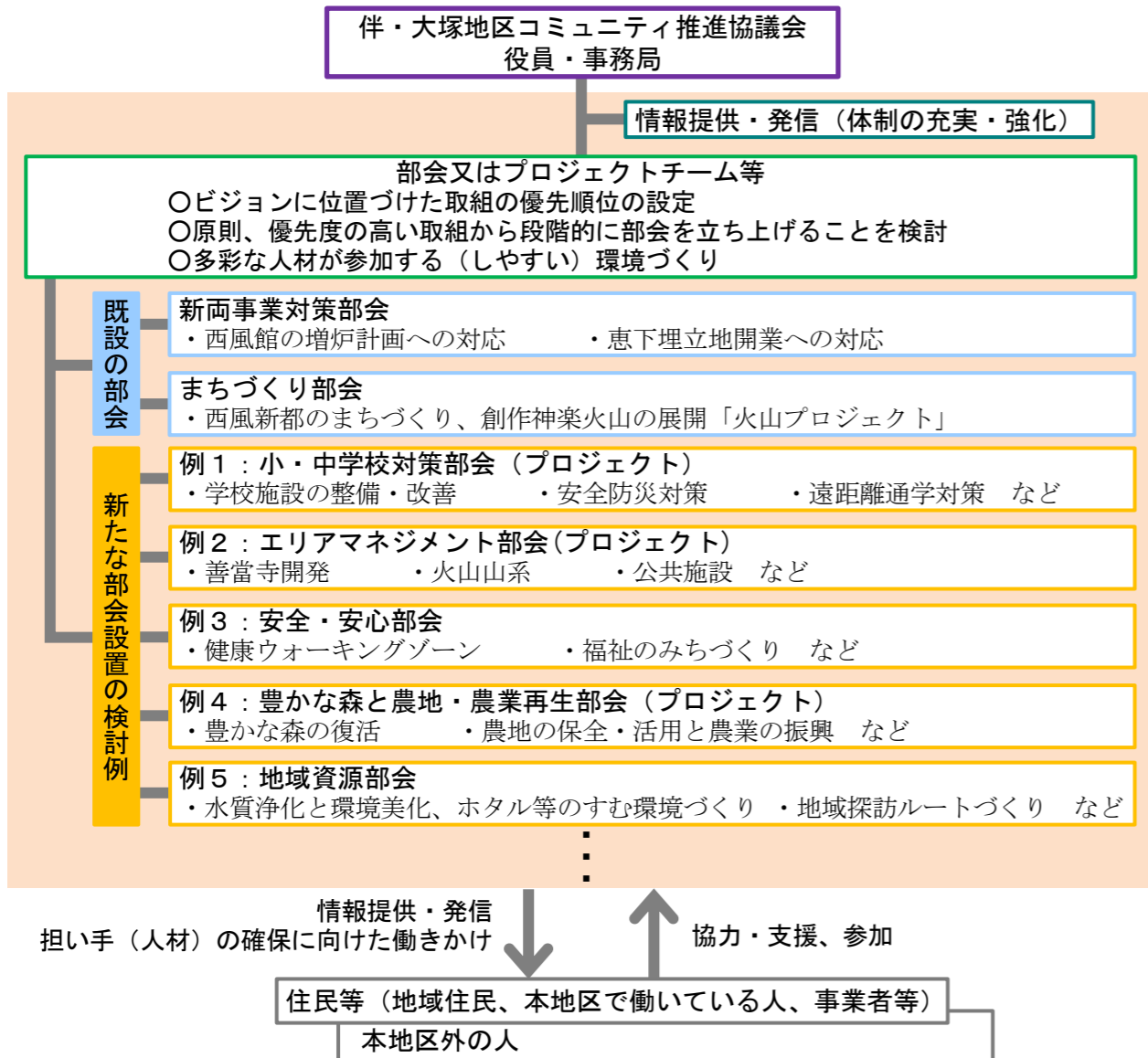
ビジョンに掲げるまちづくりの理念と目標に基づいた取組を実行し、将来像（目指す姿）を実現するため、伴・大塚地区コミュニティ推進協議会等の地域団体（住民）と広島市・安佐南区が連携し、基軸となる推進体制を充実させます。また、本地区に立地する企業と地域団体、広島市・安佐南区との意見交換の場の確保や情報の共有化に努めます。さらに、広島市を通じるなどして、国・県等に係る事業の導入や制度の活用を図ります。

こうした住民、企業、行政の連携のもとに、状況に応じて本地区に関わりのある人・企業・団体等の支援・協力を得ながら、ビジョンの具体化に取り組みます。



#### ■推進体制の強化と担い手づくり

【伴・大塚地区コミュニティ推進協議会の体制の強化（まちづくり推進）に向けた組織（案）】



シンボル【火山】

## 広島市合併 50 年記念プロジェクト＝「輝く！次の半世紀」 『伴・大塚地区まちづくりビジョン』が出来上がりました ～あらし(概要)をお伝えします～

令和4年(2022年)9月12日 伴・大塚地区コミュニティ推進協議会

### 1 『伴・大塚地区まちづくりビジョン』とは

伴・大塚地区のまちづくりビジョン（以下「ビジョン」という。）は、この地区の将来像や理念、目標等を明らかにしたもので、伴・大塚地区コミュニティ推進協議会や伴小・伴中PTAがこれまで広島市に提出した提言・要望、及びまちづくりワークショップ（本年6・7月に開催）の成果をもとに策定したものです。

当ビジョンを「広島市合併 50 年記念プロジェクト」と位置づけ、その実現に向けて「輝く！次の半世紀」を合い言葉に取り組みます。

住民、企業、行政が同じ問題意識を持ち、その上で、描いた次の半世紀の姿を目指して、地域の課題解決に向けた方向性を共有するとともに、三者が相互に協力・連携しつつ、ビジョンに位置づけた取組の実現を目指します。なお、ビジョンは、新たな状況が生じた場合など、見直しや改定に柔軟に対応します。

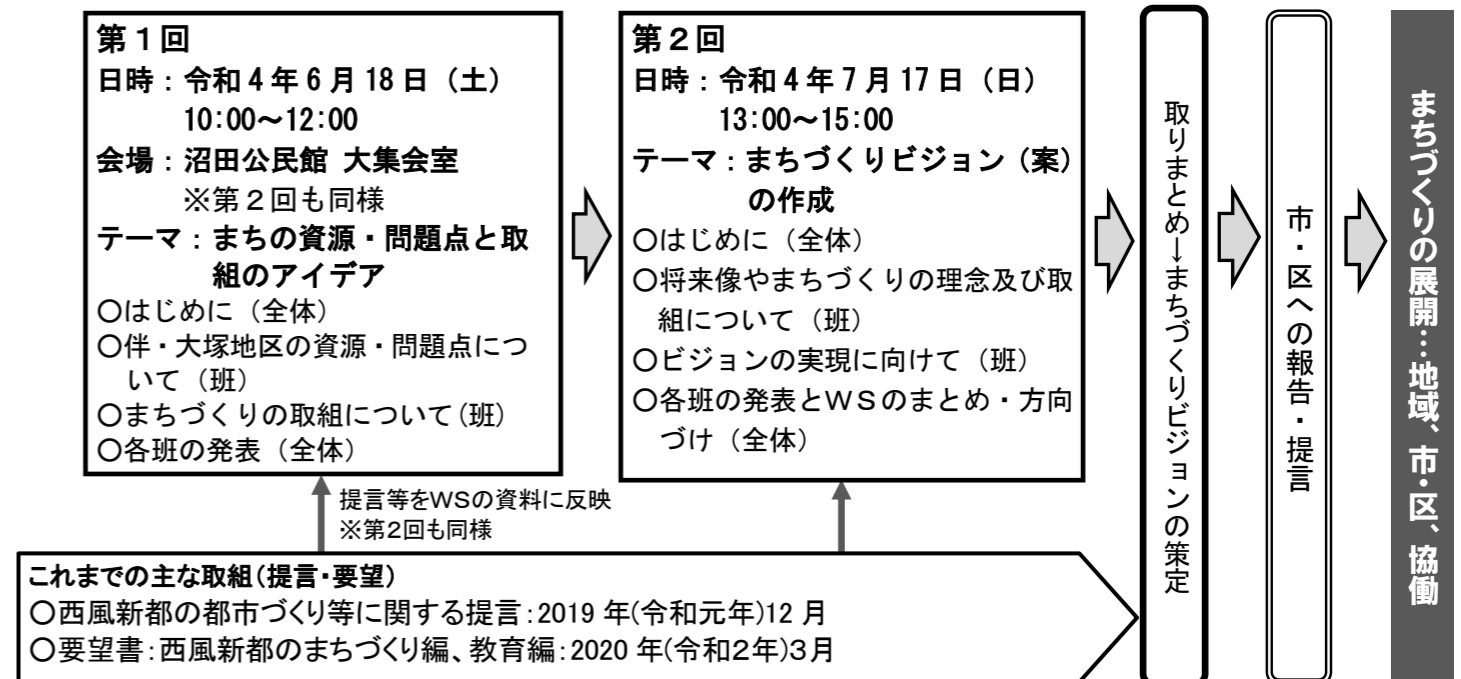
この地区にお住まいの皆さま、働かれている・事業を行われている皆さまのご理解とご協力、そして可能な範囲で取組（活動）への支援・参加をいただきますよう、お願いいたします。



ワークショップ

■昭和46年(1971年)に広島市と合併～それからおよそ50年～  
沼田町は、旧安佐郡の西端の丘陵部に位置しています。  
今からおよそ50年前の昭和46年(1971年)、西日本における大中核都市の一翼を担う、総合的・計画的な地域開発を進めることを目的に広島市と合併しました。この合併は、広島市が政令指定都市昇格を目指して推進した周辺町村との合併の第1号です。

### 【広島市への提案・要望、ワークショップの開催及びビジョンの策定と具体化の流れ】





## 2 ビジョンの体系と取組（要点）

これまでの提言・要望を踏まえつつ、まちづくりワークショップを通じて、本地区の将来像（目指す姿）やまちづくりの理念、及び主な取組などを明らかにしました。これらの内容を体系的に整理すると、次のようになります。

なお、早期に着手・実施すべきと考える取組については、「★」印を付けています。

また、主体等における「行政」については、地域（伴・大塚地区コミュニティ推進協議会等）として行政に提言する事項となります。表の◎は取組の主体、○はそれへの協力・支援を表しています。

【ビジョンの趣旨】

### 広島市合併 50 年記念プロジェクト～輝く！ 次の半世紀～

住民、企業、行政が問題意識と課題解決に向けた方向性を共有し、ビジョンに位置づけた取組の具体化を目指します。

＜将来像（目指す姿）＞  
伴・大塚地区をこんなまちにしたい…

### 古くからの風景に新しいまち並みが融合する、 住みよさ実感の自立的に発展するまち ～「住み、働き、学び、憩い、護る」と自然、歴史文化、農の融合～

＜まちづくりの理念＞  
将来像の実現に向けて、次の理念によって、まちづくりを進めます。

■西風新都2013が描く新しいまちを実現していきます

- 「住み、働き、学び、憩う」の複合機能が集積した拠点の形成と「護る(防災・安全)」機能の導入  
※「護る」には「防災力の向上」に加え、多面的な「安全の確保」を含みます。
- 「学ぶ」機能では、国際交流や平和（研究・学習等）にも取り組みます。

■伴・大塚地区ならではの自然、歴史文化、農と暮らしとの共存を目指します

- 資源・個性を引き継ぎ・創り・生かすまちづくり

■住民、企業、行政が一体となり、周辺地域とも連携してまちづくりに取り組みます

- 参加と連携・協働、支え合いの仕組みづくりと実践

まちづくりの目標	主な取組	主体等	
		地域	行政
1 “200万人広島都市圏構想”の中核を担う西風新都の都市力づくり	①広島高速4号線と山陽自動車道との連結 ★	○	◎
	②大塚駅北交差点の立体化と大塚駅周辺における拠点づくり ★	◎	◎
	③西風新都内の幹線道路（外環状線、内環状線）の早期整備	○	◎
	④奥畑地区や春日野団地方面へのバイパスの整備	○	◎
	⑤火山山系に広島の将来を担う未来型のインダストリアルパークを建設 ★	○	◎
	⑥善當寺開発などの取組への住民参加 ★	◎	◎
	⑦平地部のまちづくり	◎	◎
	⑧農業・林業の再生・起業への挑戦	◎	◎
	⑨地域と企業の連携・交流	◎	◎
	⑩ひろしま西風新都・学園都市の形成	◎	◎
	⑪デジタル田園都市国家構想の導入	◎	◎
	⑫地域交通の充実・強化とスマート交通の実現	◎	◎
	⑬防災・医療のサブ拠点の整備	○	◎

まちづくりの目標	主な取組	主体等		
		地域	行政	
2 自然と歴史文化・農を未来につなぐまちづくり	①火山伝説や伝承、古くからの地名等の周知と活用 ★	◎	○	
	②生きもの(ホタル等)のすみ環境の保全・活用 ★	◎	○	
	③豊かな森の復活 ★	◎	◎	
	④農地の保全・活用及び農業の振興	◎	◎	
	⑤農や食・食文化を学び、体験する機会の確保	◎	○	
	⑥伴・大塚・奥畑の資源・魅力の再発見と活用 ★	◎	○	
	⑦地域探訪ルートづくり ★	◎	○	
3 公共施設が地域に息つき資産となるまちづくり	①公共施設や土地利用、交通等のエリアマネジメント	◎	◎	
	②サンフレッチェ後の広域公園の魅力づくり ★	◎	◎	
	③環境公園の整備 ★	○	◎	
	④環境教育センター（安佐南工場）の整備 ★	○	◎	
	⑤安佐南工場の環境共生・美観づくり	⑤-1 工場への入口付近から建物間の美観 ★	○	◎
		⑤-2 市道瀬戸・大下線の沿線の美観づくり ★	○	◎
		⑤-3 大型ごみ搬入システムの抜本的な対策の実施 ★	○	◎
		⑤-4 脱化石燃料対策、地球温暖化対策の一環で、プラスチック類の処分を焼却から再利用に転換 ★	○	◎
		⑤-5 広島・湯来線の拡幅工事の早期完了 ★	○	◎
	⑥西風館の拡張における美観づくり	⑥-1 増設に伴う景観上の配慮 ★	○	◎
⑥-2 基本設計の段階からの住民の意見の反映 ★		◎	◎	
4 子どもたちがいきいきと学び活動できるまちづくり	①小・中学校共通対策	①-1 小・中学校の緊急総合対策（知育・体育・徳育及び防災・安全教育の向上） ★	◎	◎
		①-2 小・中学校の校舎、校庭一帯の防災対策 ★	○	◎
		①-3 地域の歴史文化や自然にふれあう教育の推進 ★	◎	◎
	②小学校対策	②-1 体育館・プール合体の新スポーツ施設の早期実現 ★	○	◎
		②-2 体力向上対策 ★	○	◎
		②-3 小学校校舎屋上の人工芝化（活動場所の確保） ★	○	◎
		②-4 教師の業務環境の改善及び教育態勢の強化…アシスタント制度を導入 ★	○	◎
		②-5 負荷を取り除く…登下校バス対策 ★	○	◎
		②-6 周辺環境の改善…交通安全対策 ★	○	◎
		②-7 小学校区の見直しによる遠距離通学対策 ★	○	◎
	③中学校対策	③-1 格技場の新設と体育館の改築、グラウンドの拡張 ★	◎	◎
		③-2 労働環境改善…増える教職員の働く環境整備 ★	○	◎
		③-3 学校環境の改善…駐車場対策 ★	○	◎
		③-4 生徒の安全対策…遠距離登校の生徒にバス通学補助★	○	◎
④防災対策・通学路の安全対策	○	◎		
⑤子どもの活動の場づくり	◎	◎		
5 だれもが住みたいと思える安心のまちづくり	①地域共生社会の実現…「6 コミュニティの活性化…」にも関連	◎	○	
	②安全・安心に登校でき、気軽に健康ウォーキングできる歩行環境づくり	②-1 「ゾーン30」の活用・普及などによる交通安全の確保 ★	◎	○
		②-2 高齢者のための「健康ウォーキングゾーン」の整備 ★	○	◎
		②-3 “福祉のみちづくり”…地区の道を“福祉のみち”に改良★	○	◎
		②-4 大型車両等から歩行者を守る対策（交通マナー、注意喚起等） ★	◎	◎
	③国の土砂災害防災センターの誘致	○	◎	
	④大塚川・奥畑川・細坂川流域の総合防災対策の実施 ★	○	◎	
	⑤広島西部山系直轄砂防事業の伴・大塚地区への適用、実施★	○	◎	
	⑥土砂埋立対策の実施 ★	◎	◎	
	⑦防災・安全を学び・体験する機会の確保	◎	◎	
⑧小・中学校の校舎、校庭一帯の防災対策（再掲4①-2）	○	◎		
6 コミュニティの活性化と支え合いのまちづくり	①沼田合同庁舎の活用促進 ★	◎	◎	
	②多彩な人材が交流・参加するコミュニティづくり ★	◎	○	
	③地域行事の継承・見直し・魅力づくりと推進体制の再構築 ★	◎	○	
	④平和リーダーが育ち平和を発信する環境づくり（市立大の活用など） ★	◎	◎	
	⑤地域の公共施設や環境を点検する体制づくり…まちのパトロールとメンテナンス（維持管理・改善）	◎	◎	